

事業実績書

1 補助事業の名称

プログラミング学習（プログラミングを楽しもう！！）

2 補助事業の成果

本年度は、昨年度に続いてプログラミングに興味を持ってもらうため、アーテック社の「ロボティスト」とトイドローンの「tello」、そしてプログラミングソフトの「スクラッチ」を活用し、段階を見極めながら小学生と一緒に学習を行っていった。

基本的なプログラミングについては、「スクラッチ」を使うことで、どのような手順を踏めば、自分の思い通りに物事が表現できるのか、短いプログラミングから始め最終的には、簡単なゲームまで組みあげるレベルまで達することができた。

また、応用編として「ロボティスト」のプログラミング操作に至っては、自分で考え壁を自動で避けるプログラミングを組める段階まで成長した。

加えて本年度は、「tello」を取り入れたことによって、最新のドローン技術について興味を持った小学生も増やすことができた。

全体として、昨年からのプログラミング教材の台数増加や「tello」を加えたことで、1回で体験できる人数の増加や興味を深めるきっかけづくりにいい方へ移行することができた。

来年度は、イノベーションサークル自体が学校のクラブとして認められたので、活動をも少し多くし、最終的には市が行う「よってたかって生涯フォーラム」で発表も行いたいと考えている。

3 補助事業の内容

(1)実施月日 平成30年6月16日 ～ 平成31年3月1日

(2)場 所 山田高等学校、保健福祉センター香北

(3)参加人員 延べ数 50人（香美市内の小学生）

(4)事業内容

科学へチャレンジ～不思議への入門～（平成30年6月16日～8月4日）

ドローン講習会 in 香美市（平成30年10月27日）

4 その他（市民等との協働）

サマーチャレンジスクール in 香北（平成30年8月2日）

香美市よってたかって生涯フォーラム（平成31年2月26日）

備考

- 1 複数事業をパッケージ化し一体的に実施した場合は、個別事業ごとに事業実績書を作成してください。
- 2 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦長としてください。
- 3 用紙が不足する項目は、別紙としてください。